

Handsome

発行人 鳥取県西部中小企業青年中央会 会長 小原 得 雄 編集責任者 足 立 聡 印刷所 東京印刷(株)



第49回中小企業団体全国大会開催される

NATIONAL CONVENTION IN MIYAZAKI 1997

第49回中小企業団体全国大会が10月23日に宮崎県宮崎市シーガイヤワールドコンベンションサミットホールにおいて盛大に開催されました。この大会には、全国各地より5,000余名にのぼる中小企業の代表者が参会し、我が家が100棟（少しオーバーですが）ぐらい建ち並びそ

うなサミットホールが狭く感じるほど熱気にあふれておりました。又、会場内には宮崎県特産品即売コーナー、市町村資料コーナー、観光等による宮崎県紹介ビデオコーナーも設けられ大勢の人でにぎわっておりました。

鳥取県からは親会である鳥取県団体中央会の皆様をはじめとして、東部、中部、西部より青年中央会のメンバーが21名参加いたしました。

今回の全国大会は、「連携・創造 広がる未来」のテーマを開催理念として、1.即効性のある総合経済対策の早期実施 2.中小企業対策予算の確保・充実 3.中小企業に対する法人課税の実質的軽減 4.中小企業の経済構造改革対応への支援協力 5.中小企業組合制度の見直しと組織化対策の充実強化 6.大店法の緩和反対、中心市街地活性化対策の充実強化 の6つのスローガンを掲げ、中小企業振興施策の拡充強化、組合組織の基盤である中小企業の安定的発展、並びに豊かな社会を実現することを目的として開会されました。

開会宣言、政府関係者の方々からの御祝辞、宮崎県知事、宮崎市長の挨拶、その後18項目におよぶ議案の審議と決議がなされ、優良組合表彰、組合功労表彰、優秀専従者表彰、大会宣言の後、次期全国大会開催県である徳島県の紹介、そして、参加者全員の万歳三唱をもって閉会となりました。

我が西部青年中央会からは、秋田県会長を団長として、小原会長、松本直前会長等計8名が参加しました。米子より米子道、中国道をリムジンカーにて快適にとぼし、伊丹空港より空路宮崎入りをしました。天候にも恵まれて、宮崎到着時にはフェニックスの街路樹を車窓よりながめながら「南国に到着したな。」といった、異国情緒を感じることができました。空港からシーガイヤに向かうタクシーの中で、運転手さんより宮崎の風土を全般に渡ってアドバイス頂き、南国ならではの人の良さ、人情味を感じました。

私にとって初めての全国大会参加でしたが、たゆまぬ研鑽とみんなで語り合った友愛の時間、そして福岡の夜、口にしたトロピカルドリンクの鮮やかな色と味は一生忘れることができない思い出として胸に刻んでおきたいと思えます。(by 広報インチュウ)



とびきり鳥取県発信!

プレゼント贈呈式

先月号でも紹介した9月18日の抽選会から約1ヶ月後の10月10日、プレゼント贈呈式が中海テレビのロビーで行われた。Cセット当選の米子市安倍在任の細谷さんが代表としてプレゼントを受け取る予定だったが、ご高齢とのことで娘夫婦にあたる高田雅未(まさみ)・純代(のりよ)さんが代わりに来られた。中央会から小原会長、松本実行委員長、目次プロデューサー、SVSからは寿山さんが加わり、小原会長より高田さんへとプレゼントが手渡された。この模様は中海テレビでも放映されたのでご存じの方も多と思う。

中海テレビのインタビューに小原会長は原稿もなしにスラスラと答え、さすがにテレビ慣れた貴様を見せつけた。プレゼントの多くはこの時点で発送済みだったが、この日のビデオデッキ・ファックスといった大きなプレゼント贈呈で、準備期間1年以上をかけた大イベントはひとまず終了した。あの暑かった夏の日が恋しいような、ほっとしたような奇妙な感慨がある。

